

内科ケースカンファレンス レポート

4月24日に、2024年度初回の内科ケースカンファレンスが行われました。

内科ケースカンファレンスは2ヶ月に1回、内科各科の持ち回りで開催されます。一つの症例を時間をかけて振り返り、学びを共有する場として、年6回研修医から専攻医までが集まり開催されています。

今回はリウマチ膠原病内科主催で、中枢神経症状を呈した全身性エリテマトーデス（SLE）の症例について振り返りました。新年度初回の開催ということで、会場には臨床に出て間もない研修医1年目から、4月から当院に復帰された山中克郎先生まで、年次を問わず多数の医師が出席し、学年に合わせたディスカッションを設定することで、盛り上がりを見せていました。

開催後のアンケートでは、比較的緊急病態が少ないリウマチ膠原病内科の中でも、すぐに対応が必要な病態についての理解が深まったという意見が多く寄せられました。

次回は6月26日（水）に、脳神経内科の主催で行われる予定です。同カンファレンスに合わせての病院見学も可能ですので、ぜひ研修担当までお問い合わせください。

